

平成 25 年度 スタディツアー推進事業実施状況報告会 報告書

平成 25 年 11 月 25 日

開催日時 平成 25 年 11 月 24 日(日)(13 時 30 分～14 時 30 分)
場所 銀天エコプラザ まちなか環境学習館(3 階ミーティングルーム(大))
事業主催 宇部市、宇部市交通局、宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)
後援 宇部市教育委員会
参加者 大人:31 名 子ども:8 名 合計 41 名

報告会次第及び内容

13:30～13:35 開会の挨拶 溝田代表
溝田代表より UNCCA を代表して挨拶がありました。



13:35～13:55 実施状況報告(Ⅰ) 亀田推進員
初めに亀田推進員から、これまでに実施してきた以下のツアーの概要について
パワーポイントにて作成された資料を元に説明がありました。

- ・第 21 回環境自治体会議(ひおき会議)
- ・子どものためのスタディツアー(環境首都 水俣市へ)
- ・子どものためのスタディツアー(環境王国 対馬市へ)



13:55～14:30 参加者による実施状況報告(Ⅱ) 亀田・藤井推進員
亀田・藤井両推進員のガイドでツアーに参加された方々から、ツアーの内容や思い出、
感想文が発表・報告されました。

(Ⅰ)第 21 回環境自治体会議(ひおき会議)

ひおき会議の参加者からは三牧さん及び古林さんが、ひおき会議全体の模様や、
10 の分科会に分かれて運営された内、宇部市からの参加者は 5 つの分科
会に分散して参加したこと、そして自分たちが参加した第 5 分科会(生物多様性)の
様子、ウミガメパトロールの状況などが報告されました。

また、大規模な会議であることに目を見張り、事務局の準備の大変さを感じるとも
に、宇部市で開催したいという気持ちと開催するにあたっては本腰を入れないと出来
るものではないという感想も述べられました。



ひおき会議について報告する三牧さん



分科会の模様について報告する古林さん

(Ⅱ) 子どものためのスタディツアー(環境首都 水俣市へ)

次に水俣市へのツアーに参加した子どもたちが、報告会の開始前に集まって作成した、楽しかった思い出を書き記したポスターを掲げて、親水海岸の慰霊碑の前で手を合わせたこと、リサイクル工場の見学が楽しくて大変勉強になったこと、そしてロッジに宿泊した翌日に、打瀬船に乗って初めての底引き網体験や太刀魚釣りを楽しんだことを5人で仲良く発表しました。最後にみんなで順番にツアーの感想文を読み上げました。(聴衆の皆さんから大拍手を頂きました。)



水俣ツアーの楽しい思い出を書き込む子どもたち



揃って水俣ツアーの楽しい思い出を発表する子どもたち

(Ⅲ) 子どものためのスタディツアー(環境王国 対馬市へ)

水俣ツアーの報告に続き、対馬市へのツアーに参加した子どもたちが、同じように報告会の開始前に集まって、作成したポスターを掲示して、ジェットフォイルという大きな船に乗ったこと、海と緑が美しかったこと、本物のツシマヤマネコを見たこと、ヤマネコの痕跡調査でテレビに出ていたおじさんの説明を聞いたこと、そして自分たちもヤマネコのふんを見つけたこと、バーベキューはおいしかったけれども多くて食べきれなかったことなどを思い出して発表しました。

最後は水俣ツアーの子どもたちと同様に、みんなで順番にツアーの感想文を読み上げました。(聴衆の皆さんから再び大拍手を頂きました。)



対馬ツアーの楽しい思い出を書き込む子どもたち



対馬ツアーの思い出を発表する子どもたち



報告会の開会を待つ皆様方



実施状況報告会 風景



事前準備にいそしむ子どもたち



11月25日に掲載された宇部日報記事

宇部市スタディツアー推進事業の実施状況
報告会が24日、銀天エ
コプラザで開かれた。

水俣、対馬で学んだ成果 児童が環境ツアーの報告会

環境首都の熊本県水俣の国の天然記念物・ツ
ル市を視察した小学生
シマヤマネコの保護活
動をしている長崎県対
馬市を視察した小学生
たちが、体験内容と感
想を伝えた。市、市地
球温暖化対策ネットワ
ーク主催。

最初に同ネットワー
クの亀田修さんが、第
21回環境自治体会議の
おき会議（5月31日、
8月1日、鹿児島県日
田市）と、子供向けの
スタディツアー水俣
（7月24、25日）、同対
馬（8月20、21日）の
概要を説明した。

水俣市を訪れた小学
生は、大谷昇翔君（川
上1年）、茂川淳盛君
（厚南2年）、斎藤一輝
君（恩田3年）、植野光
君（常盤4年）、大谷淑
乙喜さん（川上5年）
の5人。水俣病が明ら
かになった時、工場が
すぐに水銀の流出を止
めていけば、被害が広
がらなかった。「ガラ
ス瓶のリユースが面白
かった」「貴重な体験
ができたので、また行
きたい」と話した。

対馬のツアーからは
石村昌高君（黒石5
年）、渡辺鼓波君（西宇
部5年）、木原瑞貴君
（同）の3人が代表で
発表。絶滅寸前のツシ
メ、長年放置された森
の再生などに取り組む
市や保護センターの覚
悟と決意を感じた。海
岸に外国からのゴミが
たぐさん漂着について
驚いた。（松原）

平成25年度
スタディツアー推進事業 実施状況報告会
主催：宇部市、宇部市環境教育推進センター

ツアーの様子を報告した小学生たち（銀天
エコプラザで）